

平成23年度第1回北九州市立図書館協議会 会議録

1 会 議 名

平成23年度第1回北九州市立図書館協議会

2 議 題

- (1) 「こどもと母のとしょかん」の愛称の変更について
- (2) 平成22年度図書館事業結果報告
- (3) その他（旧戸畑区役所の図書館整備について）

3 開催日時

平成23年10月5日（水）
14時00分～15時00分

4 開催場所

北九州市立中央図書館内 視聴覚センター第2会議室

5 出席者氏名

- (1) 委員（副会長他11名、欠席委員5名）

北九州市学校図書館協議会会長

三木 雅臣

九州国際大学図書館長

加藤 和英

北九州市私立幼稚園連盟副会長

中田 俊澄

北九州市PTA協議会書記

中口 久美子

BUCH北九州 絵本とおはなしの会副代表

高井 眞紀子

北九州市社会教育委員

服部 多恵子

北九州児童文化連盟理事

佐山 幸子

北九州市医師会理事

有留 秀泰

成人読書会「四季」会長

高畠 登美子

北九州市AVEの会本部事務局長

堀川 英男

北九州青年会議所総務室室長

東原 文久

日本放送協会北九州放送局主管

大坪 和弘

- (2) 事務局（中央図書館長他11名）

中央図書館館長

大賀 英之

中央図書館副館長

坂本 敏彦

中央図書館庶務課長	紫垣 教幸
中央図書館奉仕課長	小石原 善徳
中央図書館庶務課庶務係長	酒井 国広
中央図書館庶務課資料係長	福江 泰弘
中央図書館奉仕課奉仕係長	岡本 博昭
中央図書館視聴覚センター館長	村上 保男
中央図書館庶務課庶務係	梶川 泰志
教育委員会生涯学習課長	堤 晴幸
教育委員会生涯学習課管理係長	橋本 浩司
教育委員会生涯学習課図書館建設担当係長	徳間 博郎

6 傍聴者

1 名

7 会議次第

- (1) 中央図書館長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 事務局職員紹介
- (2) 議事（報告、質疑応答）

8 会議経過（発言内容要旨）

- (1) 「こどもと母のとしょかん」の愛称の変更について

紫垣課長より、昨年 12 月に各分館で行った「こどもと母のとしょかん」の愛称変更についてのアンケートの結果、「こどもとみんなのとしょかん」が最も多かったことを説明。

(委員)

現在の名称はどういう経緯で決まったのか。

(事務局)

昭和 48 年に谷元市長が海外出張の見聞を基に、子どもと母が楽しみながら学習できるモデル館として門司図書館大里分館を建設したのが始まりです。その後、本市の中長期計画に沿って 10 館の分館が建設されました。

しかし近年になって、「児童書しかないのではないか」、「子どもと母親しか利用できないのではないか」、「父親の育児参加を促すためにも名称を変更し

てほしい」、また、「男女共同参画社会が進展して様々な家族形態が増加する中で時代にそぐわない名称ではないか」、というような意見要望も多くなっています。そういった中で、昨年の協議会で愛称変更のご協議をいただいたところであります。

(委員)

前回7月27日に名称変更について協議した際は、詳しい資料が配られたが今回は資料が無い。委員が数人替わったということもあるし、アンケートの集計結果など資料を用意された方が、議事がスムーズに進むと思う。

(事務局)

資料の準備については、今後配慮したいと思います。

(委員)

新しい名称は今日の協議で決定しないといけないのか。

(事務局)

昨年の7月の協議会で「こどもとみんなのとしょかん」が候補となりました。その後、10月の協議会では、各利用者の意見も聞いた上で決定してはどうかということでしたので、本日、そのアンケートの実施結果として「こどもとみんなのとしょかん」が多数を占めたという報告をさせていただいております。

(副会長)

すでに「こどもとみんなのとしょかん」という名称は、これまで図書館協議会として検討されてきて、その上で本日、アンケート結果報告に至ったということですね。

(事務局)

はい、そのとおりです。

(委員)

アンケート結果の193人という数字は、多数を占めているのか。

(事務局)

「こどもとみんなのとしょかん」が129人、「こども」か「みんな」を入れるが64人、合計で193人です。これは10館で500人からアンケートを取り、354件(70%)の回答を回収した中での193人という数字です。

(委員)

分館の蔵書についてはお父さんが読める図書は置いているのか。

(事務局)

平成21年度の分館の利用状況では、分館の蔵書の計が約44万8千冊有り、児童書が約23万4千冊(52%)、図書が約21万4千冊(48%)と

なっています。貸出者数についても一般の人の利用が70%以上というのが現状です。

(委員)

地区館はある程度図書が揃っているようだが、勝山分館は児童書が多くお父さんの読める図書が少ないので考慮してほしい。

(事務局)

勝山の蔵書の計が約4万5千冊、児童書が約3万9千冊(88%)、一般図書が約5千6百冊(12%)となっています。当該分館は中央図書館と併設となっており、成人書については中央館と勝山の二つの館を利用いただければ、ということで成人書の割合が勝山だけは少なくなっております。

(副会長)

他にご意見がありませんでしたら、協議会としては、「こどもと母のとしょかん」に替わる愛称を「こどもとみんなのとしょかん」ということで意見をまとめさせていただきます。

(事務局)

今回の協議会でご協議いただいた意見を参考にしまして、今後、「こどもと母のとしょかん」に替わる愛称を市側で検討してまいります。

(2) 平成22年度図書館事業結果報告

資料『北九州市の図書館(年報)』に基づき、利用状況等について説明。

(委員)

市内各小学校で保護者の方や地域の方から、図書館ボランティア育成の要望が挙がっており、図書館が行っている養成講座について、申込者数がどれだけあったか教えてください。特に初心者向けのコースは申込が多く受講できないという声を聞きます。

それと、図書館ボランティア派遣について詳しい内容があれば併せて教えてください。

(事務局)

読み聞かせボランティア養成講座は、初心者向けと経験者向けの2コースを行っていますが、前者は定員に対し2倍の申込がある時もあるようです。一方後者は定員割れがある時もあるようです。

平成22年度の図書館ボランティア養成講座は2回開催しており、1回目が応募者数59名、受講者が30名、2回目が応募者数47名、受講者数が30名となっております。

また、読み聞かせボランティアの初心者コースですが、1回目が応募者数53名、受講者数30名、2回目が応募者数42名、受講者数30名となっております。最後に経験者コースですが、22年度は1回開催していただき、応募者数が24名、受講者が23名となっております。これは定員30名に対して定員割れとなっております。

読み聞かせボランティア派遣については学校、幼稚園、保育園から図書館へ要請がありまして、図書館からボランティア団体へ照会をかけて派遣をお願いしています。ただし、あくまでもボランティア派遣はボランティア団体により任意で行われており、図書館で派遣業務を運営することは難しい状況です。

(3) その他（旧戸畑区役所の図書館整備について）

生涯学習課長より旧戸畑区役所の図書館整備について説明。

(委員)

こども連れのお母さん達のことを考えると、できる限り駐車場スペースを広くできないかと思う。

(委員)

旧区役所敷地内の樹木などは残されるのか。

(事務局)

現在はほとんどが道路部分になっているが、ある程度の樹木は活かしながら、図書館をイメージアップできるように考えております。